

仕様書

イノベーション戦略センター

1. 件名

2026 年度 モノに関する国際市場動向調査

2. 目的

NEDO イノベーション戦略センターは、今後のイノベーション戦略の策定に向けたテーマ抽出のため、エネルギー・環境分野及び産業技術分野においてイノベーションを起こすべき領域を特定する Innovation Outlook の策定に取り組んでいる。その際、エネルギー・環境分野及び産業技術分野を取り巻く政策・市場・技術に関する情報を俯瞰的に収集し、これをバックキャスト型アプローチとフォアキャスト型アプローチで分析することにより、研究開発プロジェクトによる解決が必要な課題を選定してイノベーション戦略を策定することとしている。

その戦略策定に関わる市場動向調査の一環として、本調査では産業競争力の源泉であるモノ、すなわち代表的な最終製品及びそれらを構成する部素材製品について国際市場動向調査を行う。

3. 内容

上記目的を達成するため、産業競争力の源泉であるモノ、すなわち代表的な最終製品及びそれらを構成する部素材製品について、「将来市場予測調査」「新興製品に関する調査手法の探索」「利益率に関する調査」を調査する。

3-1. 将来市場予測調査

いくつかのモノの主要製品カテゴリーについて、将来（2030 年および 2035 年）の世界市場規模を予測する。調査する主要製品カテゴリーの選定にあたっては、NEDO 成果報告書「2023 年度 日系企業のモノと IT サービス、ソフトウェアの国際競争ポジションに関する情報収集」（1）の P.3~19 に示す最終製品カテゴリーを基準とし、NEDO からの追加要望等を踏まえて選定する。

（留意事項）

- ・世界市場規模は日本円に換算し、換算時に使用した為替レートを明記する。金額ベースの推計が困難な場合は、それに代わる有効な指標に置き換えても良い。世界市場規模の把握が困難な製品においても、国内市場規模を推計することが望ましい。
- ・予測結果は、製品別シートとともに、グラフ化等によって視覚的に把握しやすい形式で提出する。

3-2. 新興製品に関する調査手法の探索

モノにおいて、新たに市場に登場あるいは将来の著しい成長が期待される有望製品や産業政策上の重要製品等、今後、新規に日系企業の国際競争ポジションに関する情報を収集すべき製品（以下、「新興製品」という。）について、市場規模や主要企業等の調査手法を提案する。

調査する製品は、NEDO 成果報告書「2023 年度 日系企業のモノと IT サービス、ソフトウェアの国際競争ポジションに関する情報収集」（1）の P.3~19 に示す項目に類似しているが含まれていない新興製品とする。選定にあたっては NEDO からの要望も踏まえて選定する。

調査手法の提案においては、活用する情報源を明確にする。（例えば、統計資料や文献・書籍等 *インターネット情報を含む、各種既存データベース、各製品市場への参入企業や関連業界団体／協会に対するインタビュー結果等）

3-3. 利益率に関する調査

いくつかのモノの主要製品カテゴリについて、直近（2025年）の利益率を推計する。推計の方法は、NEDO 成果報告書「2025年度 IT サービス、ソフトウェアとキーテクノロジー製品等に関する国際市場動向調査」の P141～170 に示す調査手法を参考にしても良いし、オープンソースの活用でも独自手法でも良い。

調査する主要製品カテゴリの選定にあたっては、NEDO 成果報告書「2023年度 日系企業のモノと IT サービス、ソフトウェアの国際競争ポジションに関する情報収集」（1）の P.3～19 に示す最終製品を基準とし、NEDO からの追加要望等を踏まえて選定する。

4. 報告会等の開催

必要に応じて委託期間中に進捗報告会を実施すること。

5. 調査期間

NEDO が指定する日から 2026 年 12 月 25 日まで

6. 予算額

1,000 万円以下

7. 報告書

提出期限：2026 年 12 月 25 日

提出方法：NEDO プロジェクトマネジメントシステムによる提出

「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

※報告書の仕様については、別途指示することがある。

※調査報告書においては、データの出典を明らかにするとともにデータの算出方法や推計方法についても明らかにすること。また、インタビュー調査等の記録についても併せて報告すること。

8. その他

本仕様書に定めなき事項については、NEDO と実施者が都度協議の上で決定するものとする。

以上